

令和2年度 知識集約型社会を支える人材育成事業審査結果

大学等名	金沢大学	整理番号	2
メニュー	メニュー I 文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム		
事業計画名	融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材育成プログラム		

[採択理由]

本事業計画は、知識集約型社会に向けて大きく変動する時代の中核的なリーダーとなり、自身の深い専門性を基盤としながら広範な教養と文理融合の知識によって社会課題を解決し社会変革を先導する領域横断型の STEAM 人材の育成を目的とするものである。

当該大学は、「学域・学類制」や専門分野を2年次以降に選択する「経過選択制」など、学部間の壁を越えた分野融合型の新しい教育体制を意欲的に構築してきた。本事業計画は、それら従前の教育改革の現状を十分に分析するとともに、その成果を活用し、今後当該大学として目指す大学教育改革の課題に取り組むものであると認められる。新しい学域としての「融合学域」の設置、「先導 STEAM 人材育成プログラム」による文理融合教育の全学的展開、金沢大学<グローバル>スタンダード

(KUGS)において整備した5領域の共通教育科目群に STEAM 教育を主とする科目群を加え全学必修化するなど、斬新なカリキュラム改革によって、教育組織、教育プログラムを通しての重層的な改革の仕掛けが施されており、イノベーションを先導する人材の育成が求められる社会ニーズに応えるものとして高く評価できる。これらの取組を全学一体で展開する構想である点も高く評価できる。さらに、育成する人材目標に基づいて、達成すべき学修成果も明示されている。授業科目・教育課程も多彩かつ体系的に構成されており、学修目標もディプロマ・ポリシーを踏まえてよく検討されたものとなっている。

また、本事業計画は、「教学マネジメント室」の設置によるマネジメント機能の一元管理と一体的に構想されており、学長を中心とした運営体制の確立も十分に期待できる。年度計画も具体的に立てられており、ファカルティ・ディベロップメント

(FD)、スタッフ・ディベロップメント (SD) の実施についても従来から国際基幹教育院高等教育開発・支援部門が充実した内容を提供してきているので質は担保されている。本事業計画の取組は、全学的なコンセンサスの下、大学全体としての教育組織、教育課程、改革支援組織として継続されていくものであると判断でき、補助期間終了後の継続的かつ発展的な取組の実施が期待できる。

以上のことから、本事業計画は「幅広い教養と深い専門性を両立した人材の育成」と「全学的な教学マネジメント改革」という今回の事業趣旨に沿った、体系的かつ先進的な提案となっており、着実な計画の実施が望まれる。